

合格体験記

愛知教育大学 教育学部義務教育専攻学校教育科学専修合格

我喜屋 宗磨 (46 回生)

安城市立安城南中学校出身

共通テストの演習を何度やってもボーダー一点に届かなかった時や“第一志望校が E 判定である“という現実を突きつけられながらも前期試験や後期試験の対策をした時など、私は志望先の合格が分かるまで、常に不安と隣り合わせでした。ですが、「お互い頑張ろう！」と励ましてくれる友達や、「お前なら受かる」と言ってくださった先生方の存在は、私にとって不安と戦う力を与えてくれる存在でした。もしそのような友達や先生方がいなかったら、私は不安に負けて合格できなかったと思います

さて、これから受験を迎える後輩に二つ伝えたいことがあります。一つは、模試の結果で一喜一憂しないことです。模試で大事なことは、“結果がどうだったか”ではなく“その先でどうするか”です。結果を見て改善することで、次の模試ではより良い“結果”が得られるかもしれません。それを目指して努力し続けられるかどうか合否を分けると思います。もう一つは、家以外の集中できる場所を作ることです。その“集中できる場所”は学校の自主学習でも、自分が通う塾でも、近くの図書館でも構いません。私は学校の自主学習を利用したことで、大学受験における学習習慣を身に着けることができました。学習を進めるのは自分自身なので、そのための環境も自分で作るべきだと思います。

耳の痛い話が多かったとは思いますが、皆さんも受験が終わった時に、きっとここに書いてあることと同じことに気付くと思います。受験が終わった時に「自分は最後までやり切った!」「後悔はない!」と自信を持って言えるように頑張ってください。